

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	・介護計画作成にあたり、施設側はご家族へ説明及び話し合いを行っているつもりだが、ご家族へは、その意図が伝わり辛かった部分があると思われる。	・介護計画作成にあたっての説明及び話し合いについて、ご家族側と施設側双方の温度差を解消していく。	・介護計画の作成時期が近付いている入居者様に対しては、管理者より家族へお知らせし、介護計画に関心を持ってもらうように働きかけていく。 また、計画作成担当者からご家族へ介護計画を渡す際に添えている手紙には、今後、必ず『以上を説明とさせていただきます。尚、計画に対し、ご要望、内容に対するご不明な点がありましたら、担当者までお気軽にご相談下さい。』といった、旨の文言を入れていく。	3ヶ月
2	35 (13)	①災害訓練を行っているものの、地域住民と連携した実施機会を作っていない。	・地域住民にも災害訓練に参加して頂けるような機会を作る。	・施設と関係のある近隣区域の民生委員に参加を要望し、地域住民との架け橋になって頂くように図る。	6ヶ月
3	35 (13)	②災害備蓄は地域住民への供給も鑑み、2日分では不足しているのではとの指摘を頂いた。	・備蓄量の見直しを図り、地域住民への供給を考慮した備蓄を常備出来ている。	・社内にて備蓄量の再確認を実施。缶詰などの食料は3日分、水は7日分、米は1年分備蓄しており、この量であれば地域住民への提供も可能な量であると考えた為、特に備蓄量は増やすことはしないという判断に至った。	
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。